

都市再生整備計画 事後評価シート
呉中央地区

平成29年3月

広島県呉市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県		市町村名	呉市		地区名	呉中央			面積	180ha	
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	3,259百万円	国費率	0.385			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業【二河橋(市道 三条4丁目2号線)、役所橋(市道 本通三条線)、宝橋(市道 幸町海岸線)、楓橋(市道 本通4丁目1号線)、かもめ橋(市道 幸町海岸線)、中央二河町線、幸町1号線】 高次都市施設事業【市民ホール及び市民協働スペース】									
		提案事業	地域創造支援事業【道路照明灯省エネ化事業】									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名									
		提案事業	削除/追加の理由									
新たに追加した事業	基幹事業	道路事業【幸町海岸線、中通1丁目1号線】、公園事業【中央公園】、地域生活基盤施設事業【(仮称)堺川駐輪場】										
	提案事業	(道路)道路舗装の損傷が激しく、安全な通行に支障を来す恐れがあるため。(公園)都市機能の整備・充実をため、防災機能を高める公園を整備することとしたため。(地域創造支援)駐輪スペースの不足分を補うため、新たに駐輪場を整備することとしたため。										
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	市民ホール年間稼働率	%	43.6	H22	47.3	H28	49.2	○	あり なし	平成29年4月頃	
	指標2	市民協働スペースの利用団体及び利用者数	件	12,919	H22	14,617	H28	26,784	○	あり なし	平成29年4月頃	
	指標3	緊急的に補修が必要な橋梁の割合	%	32.0	H23	14.0	H28	14.0	○	あり なし	平成29年4月頃	
	指標4	中通商店街に対する満足度	%	20.0	H25	30.0	H28	48.0	○	あり なし	中通1丁目1号線の全面道路改良を行い、路面の段差を解消することで、歩行者が安心・快適に回遊することのできる空間を形成することができた。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎の整備によって、災害時の避難場所や支援団体の活動スペースが整備され防災拠点としての機能強化が図られた。また、中央公園を整備することで、庁舎と一体となって拠点を形成し、更なる機能強化に繋がる。 閉庁時でも通行することができる自由通路(シビックモール)を整備したことで、平日・休日問わずフリースペースの利用があり、新たな憩いの場として活用されている。 中通路面整備において住民と行政が意見を交換し合う住民説明会といった住民参加プロセスを取り入れたことで、施設に対する愛着が高まり、地域の財産として捉える考え方が広がりがつある。 道路や橋梁の補修により、災害時に市民を守る円滑な移動空間を確保するとともに、安全で快適な都市環境を創出することができた。 											
5)実施過程の評価	実施内容											
	モニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									今後の対応方針等	
	住民参加プロセス	中通商店街の路面整備については、住民説明会により住民と整備方針を協議した。 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									● 路面整備について住民と計3回協議し、理解を深めていただくとともに円滑な事業進捗につながった。今後も、必要に応じて、住民の意見を伺う場を設ける。	
	持続的なまちづくり体制の構築	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

呉中央地区(広島県呉市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 安全・安心なまちづくり、地域交流を推進するまちづくり 目標1 災害時における支援活動スペースや公園の整備により、災害から市民の生命と財産を守る防災拠点として強化を図る。 目標2 市民ホールや市民協働スペースの整備により、地域間・世代間交流を推進し、市民のぎずなを深める活動を促進する。 目標3 身近にある橋梁や道路・照明灯の再整備により、防災性・安全性を向上させ、安心・快適に利用できる移動空間を形成する。	市民ホール年間稼働率	単位: %	43.6	H22	47.3	H28	49.2	H28
	市民協働スペースの利用団体及び利用者数	単位: 件	12,919	H22	14,617	H28	26,784	H28
	緊急的に補修が必要な橋梁の割合	単位: %	32.0	H23	14.0	H28	14.0	H28
	中通商店街に対する満足度	単位: %	20.0	H25	30.0	H28	48.0	H28
		単位:		H		H		H



【市民ホール(絆ホール)】



【市民協働スペース】



【宝橋(幸町海岸線)】



【中通(中通1丁目1号線)】

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所本庁舎は耐震性が不足しており、安全性向上を図るなど防災拠点としての機能の強化を必要としていたが、新庁舎を整備することで高い耐震性を有した、災害時の対策・復興本部機能を備えることができた。また、災害時の避難場所や世代交流の場となる中央公園の整備も進んでいる。 ・市役所本庁舎では交流の場や市民協働の拠点となる施設が不足していたが、市民ホールや市民協働スペースの整備に合わせて自由通路(シビックモール)も整備することで、市民の交流を促進する拠点を作ることができた。 ・緊急に補修が必要と判定された橋梁を整備することで、安全かつ円滑な移動空間を確保することができた。 ・中通1丁目1号線(中通線)を整備したことにより、老朽化していたレンガ敷の路面が改装され、安心して回遊できる空間づくりに寄与することができた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤事業(ハード)は達成されたので、今後の効果の持続は活用方策(ソフト)の問題となる。災害対応に係る訓練や研修を定期的実施し、さらに防災拠点としての機能・役割等についてPRすることで、災害時に誰もが迅速に対応できる災害に強い安全なまちづくりを目指す。 ・交流拠点の活用により、地域間・世代間及び各種団体間の交流を図りつつ市民協働を推進し、「市民力」「地域力」が存分に発揮できる個性豊かで活力あるまちづくりを目指す。 ・補修した道路橋りょう等を長期的に安全かつ円滑な移動空間とするため、維持管理を充実させる。残された橋梁についても交付金などを活用した補修をすすめるため、実施方針を検討する。 ・路面整備を行った中通についても、利用者や地権者、居住者等との対話を行い、歩行者(特に高齢者等の交通弱者)が安心・快適に回遊することのできるゆとりと潤いのある空間づくりを目指す。